

学生便覧 2024年度
G2024-9

大学院

ビジネスデザイン研究科

大学院 課程修了要件

<小目>

I ビジネスデザイン専攻〔修士課程〕…………… 2

ビジネスデザイン研究科

ビジネスデザイン専攻

I. ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻は、所定の単位を取得して学位論文審査に合格し、かつ以下に該当すると判断した場合に、修士（経営学）の学位を授与します。

- （1）広い視野と深い学識を持ち、高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力及び専攻分野における研究能力を修得し、活用することができる。
- （2）高度の専門職業人に必要な知識・能力・倫理観を修得し、活用する事ができる。
- （3）市場の変化と消費者インサイトを見極め、企業が目指すミッション・ビジョン・バリューに基づきブランディングを実行し、ビジネスコミュニケーションをデザインする事ができる。
- （4）時代と社会のニーズに応じて価値を創造し新しいビジネスモデルを探索し構築する事ができる。

II. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、ビジネスモデル構築に係る能力と、表象文化に係る教養を修得し、様々なメディアを活用して価値創造ができる高度の専門職業人を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

- （1）基本的な研究方法論及び経営学に関する基礎的な知識を習得するため、ビジネスデザイン基礎論科目群を設置する。
- （2）俯瞰的な視野をもって経営学に係る知識、論理的なフレームワークを学ぶため、マネジメントサイエンス科目群を設置する。
- （3）ビジネスにおける新しい価値を創造する能力を修得するため、ビジネスコミュニケーション・デザイン科目群、ビジネスモデル・デザイン科目群を設置する。
- （4）クリエイティブ思考力及びコミュニケーション能力を修得するため、事例研究・表象文化科目群を設置する。
- （5）ビジネスデザインに係る研究成果として、修士論文あるいは課題研究報告書を作成するため、演習科目を設置する。
- （6）アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び大学院生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

III. 修士論文指導は、次のように実施していく。

入学時に提出する研究計画を基に指導教員を決定する。指導教員は学生と協議のもとに副査2名を選出し、指導教員と副査より適時指導を行っていく。公开发表会における発表等をとおして指導教員、副査以外の研究科所属教員も随時指導に協力する。

学年	期間	発表会計画	留意点等
1年次	入学時	『研究計画書』提出	1年次終了までに副査2名を決定
2年次	前半	論文作成計画発表	研究テーマの独創性と可能性 問題設定と研究意義の妥当性 研究方法、参考文献、調査・資料収集の計画性
	後半	修士論文概要発表	参考文献、調査資料、データ分析の適切さと信頼性 論文作成能力の到達度

IV. 修士論文概要発表において、指導教員及び副査より論文提出の許可を得た者が、最終的に修士論文の審査を願ひ出ることができる。

提出に関する詳細は、以下のとおりである。

o学位論文提出期間

年度によって提出期間及び締め切り日等は異なるが、概ね1月もしくは、7月を提出期間として設定する。

*必ず、掲示や当該大学院事務室にて確認のこと。

○大学に提出するもの

- ①学位論文提出票..... 1部
- ②学位論文審査願（所定用紙）..... 1部
- ③提出許可届..... 1部
- ④誓約書..... 1部
- ⑤修士論文..... 4部および電子データ
- ⑥修士論文要旨..... 4部および電子データ

○修士論文並びに修士論文要旨の作成様式

- ①記載言語は、和文、英文を問わないが、横書きで記載し、左綴じとする。
- ②用紙は、白色上質紙（レーザープリントに適応できるもの）のA4版（横210×縦297mm）とし、以下の字組で記載すること。

和文の場合 1ページあたり、1行を40字とし36行とする。

英文の場合 1ページあたり、1行を半角の70字とし36行とする。

- ③各表紙・ページの余白については、後掲の修士課程用様式に従って作成すること。
- ④ページ番号の記載方法については、用紙下段（余白）の中央に記入すること。
- ⑤文章の記載方法については、パソコンの文書作成ソフトを用いること。
- ⑥注の表記や出典の表記等の学術表記は、指導教員の指示に従うこと。
- ⑦修士論文要旨の分量

和文.....4,000字以上～6,000字以内

英文.....A4版1ページ36行5枚以内

- ⑧修士論文の分量

和文.....28,000字相当以上

英文.....A4版1ページ36行40枚以上

*和文・英文とも、上記分量に、参考文献と添付資料は分量に含めない。

*縦書きの場合は、学部事務室へ問い合わせること。

V. 修士論文提出後に行う最終口述試験は、パワーポイントを使用することを原則として、次の要領で実施する。

- (1) 指導教員及び副査2名以上で行う。時間は、発表20分、質疑応答10分とする。
- (2) 審査は主に次に挙げる事項に留意して審査を進める。

- ①研究テーマ設定の斬新性
- ②注釈、図表など適切に表記しているかどうか。
- ③研究の意義を十分理解し、研究成果の発展の可能性を認識しているかどうか。
- ④研究内容を簡潔にプレゼンテーションし、質問に的確に答えることができたか。
- ⑤論文の分量は適切か。
- ⑥「城西国際大学研究倫理に関する規定」を満たしているか。

以上の点を総合的に評価し、主査及び副査は、論文審査における「合」「否」、口述試験における「合」「否」を決定、双方の「合」をもって修了可とする。

VI. 主査と副査は、審査結果及び試験結果について研究科長宛に文書をもって報告する。